

学術サミット

活動報告・活動目標

一般撮影班

2022 年度活動報告

- 国立大学病院で実施される一般撮影と透視検査の研究・調査を行い、これらの検査における被ばくと画質の最適化を追求し、放射線技術学の発展に努めました。
- 撮影技術や画像処理の最新技術を共有し、常に画像診断への貢献を念頭に活動しました。
 - 主な活動内容
 - ◇ 国立大学病院におけるデジタル胸部 X 線撮影時の実態調査

2023 年度活動目標

- 2023 年度は透視検査おもに ERCP をテーマに活動する。
 - 調査内容
 - ◇ 透視/撮影時のパルスレート
 - ◇ 術者の被ばく対策
 - ◇ X 線管球位置による空間線量の把握

学術サミット

活動報告・活動目標

血管造影班

2022 年度活動報告

- サミットメンバー内で RocalDRLs での透視画像の評価
 - ファントムと評価方法を再検討しています。

2023 年度活動目標

- 透視線量と画像の違いデータまとめを行います。（2022 年度の継続）
- 当直時の血管撮影室における技師の業務内容・待遇・スタッフ毎の役割調査開始予定です。

CT 班

2022 年度活動報告

- 全国国立大学病院の現状を把握するとともに、小児 CT 検査の正当性を示すことを目的として活動しています。
 - 倫理承認を受け、調査を開始します。CT 検査の被ばく線量において、小児、乳幼児の検査を行う場合、放射線感受性が高いことから、画質を担保しつつ最低限の X 線量で検査を実現しなければなりません。
- 全国国立大学病院の現状を把握するとともに、小児 CT 検査の正当性を示すことを目的として活動しています。

2023 年度活動目標

- 倫理委員会での研究の承認
- 全国国立大学病院でのデータ収集
- 共同研究にてデータ解析

学術サミット

活動報告・活動目標

MRI 班

2022 年度活動報告

- 第5回学術サミット研修会
- MRI 部門での問題点の収集
- MRI 部門の人材育成に関する共有データの作成

2023 年度活動目標

- MRI 部門での問題点の収集
- MRI 部門の人材育成に関する共有データの作成

放射線治療班

2022 年度活動報告

- （活動方針）治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 放射線治療における被ばく管理と線量評価の標準化に向けた活動を継続しています。

2023 年度活動目標

- （活動方針）治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 放射線治療における被ばく管理と線量評価の標準化に向けた活動を継続し、研究を開始予定です。

核医学班

2022 年度活動報告

- 課題 1. SPECT-CT、PET-CT 検査における CT 線量調査および放射性医薬品の投与量の調査
- 課題 2. 核医学検査におけるインシデントの調査と解析

2023 年度活動目標

- 課題 1. SPECT-CT、PET-CT 検査における CT 線量調査および放射性医薬品の投与量の調査
- 課題 2. 核医学検査におけるインシデントの調査と解析